

## 内閣府の青年国際交流事業

内閣府の行う青年の国際交流事業は、昭和 34 年度に、当時皇太子殿下であられた今上陛下の御成婚を記念して「青年海外派遣」事業が開始されたことが発端となり、以来、50 年に渡り実施しているものです。

航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を通じた日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の理解と友好を促進するとともに、青年の国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として、現在では、以下の各事業を実施しています。

事業名		平成 21 年度事業概要（予定）	開始年度	開始の経緯
青年の船交流事業	◎世界青年の船	日本青年 144 人と世界 12 か国の外国青年 144 人が船内などで共同生活。約 40 日間の航海で西南アジアの 2 か国を訪問。（太平洋方面と西南アジア方面を隔年で訪問。）	昭 63	（明治 100 年記念事業として昭和 42 年度に開始された「青年の船」事業が前身）
	◎東南アジア青年の船	日本青年 40 人と ASEAN10 か国の青年 290 人が船内などで共同生活。約 40 日間の航海で ASEAN の 5 か国を訪問。	昭 49	日本・東南アジア諸国共同声明
青年相互交流事業	国際青年育成交流事業 ◎国際青年育成交流プログラム	合計 48 人の日本青年を、発展途上国 4 か国に 18 日間派遣し、それらの国から合計 48 人の外国青年を、18 日間日本に招へい	平 6	皇太子殿下御成婚記念  （今上陛下御成婚記念事業として昭和 34 年度に開始された「青年海外派遣」事業と、37 年度に開始された「外国青年招へい」事業が前身）
	◎青年社会活動 コアリーダー育成プログラム	合計 27 人の日本青年を、社会活動の盛んな先進国 3 か国に 10 日間派遣し、それらの国から合計 39 人の外国青年を、15 日間日本に招へい		
	◎日本・中国青年親善交流	日本青年 30 人を中国に 15 日間派遣、中国青年 30 人を 15 日間日本に招へい	昭 54	日中平和友好条約締結
	◎日本・韓国青年親善交流	日本青年 30 人を韓国に 15 日間派遣、韓国青年 30 人を 15 日間日本に招へい	昭 62	日韓共同声明、 国交正常化 20 周年

（注） これまでに日本青年約 15,000 人、外国青年約 18,000 人が事業に参加。日本を含む世界約 50 か国で事後活動組織が設立され、様々な社会貢献活動などを実施。